

佐太小学校だより



佐太っ子

令和7年 9月19日
文責 校長（小山美子）

佐太小
ホームページも
ご覧ください！



2学期も全力で！みんなの笑顔輝く佐太小学校に向かってがんばります

9月1日（月）、太陽が照り付け、とても暑い2学期スタートとなりましたが、こどもたちは夏休みの作品を手にとって、新学期への期待とやる気に満ちた表情で登校してきました。84人全員のこどもたちが元気にそろい、最高のスタートを切ることができました。

2学期は79日間と最も長い学期であり、学習発表会（10月24日）、ランラン大会（持久走）（11月13日）、4～6年生の連合音楽会（10月9日）、6年生の修学旅行（11月6日・7日）などたくさんの学校行事を計画しています。稲刈りなどの各学年の学習や、佐太地区体育大会、公民館文化祭の展示出品など、地域の皆様と一緒に学ぶ行事もあります。このような行事や毎日の学校生活を通して、こどもたち一人一人が自分の力を一層高め、大きく成長できるよう教職員一同、努力していきます。

保護者・地域の皆様、どうぞ2学期も変わらないご支援・ご協力をよろしくお願いします。

始業式では、2学期も毎日忘れず心がけてほしいこととして、【え】・【が】・【お】のキーワードを再確認し、「みんなの笑顔が輝く佐太小学校」を全員でつくっていきましょうと話しました。

【え】 えがおであいさつ

【が】 がんばる心と体をつくる

【お】 教え合い 助け合い みんなで協力して本気で取り組む

また、こどもたちに次の問いかけをしました。

みんなの笑顔輝く佐太小学校にするために、2学期どんなことを全力でがんばり、自分の力を高めますか？

そして次の2つのことを視点に入れて、目標を考えてほしいと伝えました。

① 自分で【コソコソ】がんばること。

② 友達や先生、おうちの人など、あなたのまわりにいる人に【応援してもらって、その人たちと一緒にがんばること。】

この問いを受けて、こどもたち一人一人が、2学期自分ががんばることを考え、それをカードに書きました。こどもたちが決めた目標が達成できるよう、全校のこどもたちと全教職員で、応援していきます。2学期の終わりには、しっかり自分の力を高めてくれることと思います。

このめあては1階廊下に掲示していますので、お出かけいただいた際にはぜひご覧ください。



PTA 環境整備作業

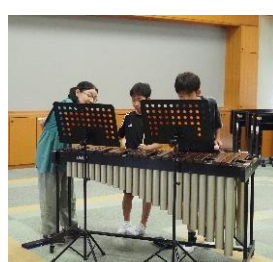
8月24日（日）のPTA環境整備作業では、多くの保護者の皆様にご参加いただきました。この日は、こどもたちも参加し、教室の掃除をしたり、ベランダをデッキブラシで磨いたりと一生懸命がんばってくれました。保護者の皆様には、校舎の窓ふき清掃や校地の草刈りなど、暑い中、熱心に作業してくださったお陰できれいに整えられた学校で新学期をスタートすることができました。お世話になりありがとうございました。



連合音楽会放課後練習

今年も10月9日（木）に県民会館で行われる連合音楽会に4～6年生が参加します。

今年のテーマは、【冒険と旅立ち ～なかまの力・絆・協力～】です。選曲もそのテーマから考えました。合唱『One Team! (ワンチーム)』合奏『ドラゴンクエスト～ロトのテーマ～』を発表します。9月に入ってから、ボランティアの方々には、それぞれの楽器のパート練習で助けていただきました。心を一つに、仲間の力を合わせてすばらしい演奏になるようがんばっています。



稲作体験 ～佐太幼稚園さんと稲刈り～

実りの秋を迎え、5月に植えた稲がたわわに実りました。9月17日（水）に、5年生のこどもたちは、佐太幼稚園のこどもたちと一緒に稲刈りを行いました。こどもたちは、手刈りや、刈った稲を束ねる難しさを感じながらも、ペアの友達や園児さんと協力して一生懸命収穫しました。最後にコンバインにも乗せてもらい、機械を使っての収穫体験もさせていただきました。こどもたちは、農家の方の米づくりへの熱い想いと、米ができるまでの大変さを、この稲作体験を通して知ることができました。そして、この貴重な学びのために、田んぼを使わせてくださり、ずっと管理をしてくださった安達和朗さんへの強い感謝の気持ちをもちました。その気持ちは、収穫祭を開き伝える予定です。本当にありがとうございました。



日本野鳥の会からの感謝状

佐太小学校には、毎年たくさんのツバメが飛来します。現在、巣の中にはヒナもスクスクと成長し、可愛い顔を覗かせています。こどもたちにとって、そこにいるのが当たり前のツバメたちです。ツバメたちにとっても、佐太っ子たちは脅威ではなく、身近な存在であり近くにいると逃げたりしません。そんな佐太小学校の様子を聞いた日本野鳥の会から感謝状が届き、こどもたちに紹介しました。同じ地球に生きるたくさんの生き物たちを尊重し、その生命を大切にする気持ちを育てていきたいと思ひます。

